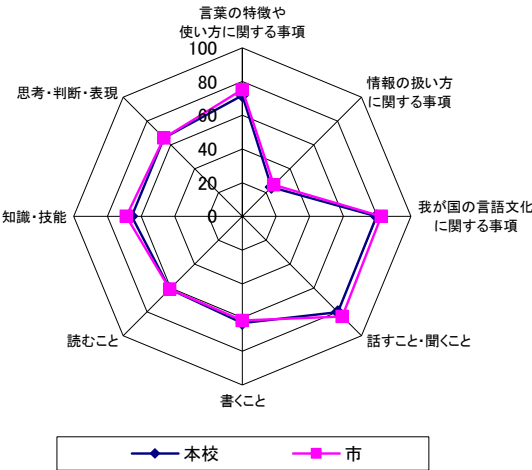


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	71.8	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	24.5	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	79.6	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	80.3	83.9	84.2
	書くこと	63.3	61.7	64.5
	読むこと	60.9	60.9	61.0
観点別	知識・技能	65.6	68.8	70.3
	思考・判断・表現	65.7	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	平均正答率は71.8%で、市平均よりも3.5ポイント低い。 ○2段落構成で文章を書く設問では、市の平均を10.8ポイント上回った。 ●熟語の成り立ちや敬語の使い方など、言葉の学習に関わる設問では、市の平均を大きく下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・朝の学習や授業の導入、終末等にミニワークを行ったり、場に適した言い方を想像して実際に話す活動などを取り入れたりするなど、多種多様な言葉に触れる機会を意図的に設ける。
情報の扱い方 に関する事項	平均正答率は24.5%で、市平均よりも2ポイント低い。 ●説明文の内容を読み取ったり、報告文を書いたりする設問では、市の平均を下回った。	・説明文の内容を情報としてとらえられるよう、要点を短い言葉でまとめたり、ワークシートを活用して比較しやすくしたりして、情報整理の仕方を教える。 ・一つの情報を一つの段落で表すなど、簡単な表現方法からステップアップできるような学習方法を取り入れる。
我が国の言語文化 に関する事項	平均正答率は79.6%で、市平均よりも2.8ポイント低い。 ●和語、漢語、外来語の理解に関する設問では、市の平均を2.8ポイント下回った。	・語句の由来を正確に掴ませ、語句に使用されている漢字の意味と繋げさせるなど、字そのものの面白さや理解につながるようワークシートなどを活用する。
話すこと・聞くこと	平均正答率は80.3%で、市平均よりも3.6ポイント低い。 ○インタビューの概要を捉える設問では、市の平均を4ポイント上回った。 ●意図に応じて質問を工夫したり、設問では、市の平均を大きく下回っている。	・例文をもとに相手に質問する練習をしたり、質問練習を重ねながらより良い質問の仕方を考えたりする活動を取り入れる。 ・国語だけでなく、委員会活動や総合的な学習の時間などにもインタビューを積極的に取り入れるなど、「質問し、答える」活動に慣れ親しませる。
書くこと	平均正答率は63.3%で、市平均よりも1.6ポイント高い。 ○意見や理由を明確にし、段落構成を考えて指定された長さで文章を書く設問では、市の平均を大きく上回った。 ●予想される反論を考え、それに対する意見を文章で書く設問では、市の平均を大きく下回った。	・ねらいを明確にして文章を書かせるだけでなく、より意図が伝わる表現方法を工夫させたり、字数制限を設け、簡潔に伝える文章を書くことに慣れさせたりする活動を取り入れる。
読むこと	平均正答率は60.9%で、市平均と同ポイントである。 ○描写を基に登場人物の心情や様子を捉える設問では、市の平均を大きく上回った。 ●情報間の関係を理解し、工夫して報告文を書く設問では、市の平均を下回った。	・情景が思い描けるように挿絵を工夫したり、描写を基にした心情の変化を多種多様な言葉で表現できるよう、語彙力を高める。 ・段落の要点を明確にして比較して考えられるようにしたり、簡潔な文章でまとめられるよう、文章を再構成する活動を取り入れたりする。